

みなさまからの

# 請願1件・陳情2件を審査

9月会議で審査された請願・陳情の結果をお知らせします。  
請願・陳情は、町政に対し意見や要望があるとき誰でも提出することができます。  
請願には紹介議員が必要ですが、陳情には必要ありません。

**採択**

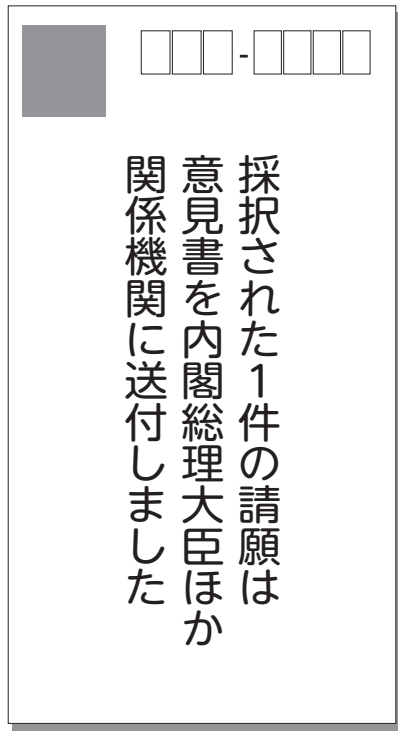
## 出産育児一時金の増額を求める意見書の提出を求める請願

◎請願者 公明党津幡支部

津幡地区員 沢山とみ子  
紹介議員 道下 政博  
(全員賛成)

委員会の主な意見

出産育児一時金の増額については、出産時における経済的負担の軽減につながるものであり、少子化対策の一つとなり得るため、本請願は概ね支持できる。



追加議案として

# 意見書2件を可決

▼採択された請願による意見書

## 出産育児一時金の増額を求める意見書

令和元年の出生数は86万5234人で、前年に比べ5万3166人減少し過去最少となった。少子化克服に向け、安心して子供を産み育てられる環境を整えるためには、子供の成長に応じた、きめ細かな支援を重ねていくことが重要であり、一時金はその大事な一手であると考えられる。  
よって、政府におかれては、現在の負担に見合う形に、出産育児一時金を引き上げることを強く要望する。  
(全員賛成)

提出者 八十嶋孝司  
賛成者 小町 実  
同 森川 章

## コロナ禍による厳しい財政状況に対処し、地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染拡大は、我が国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、国民生活への不安が続いている。この中で地方財政は、来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。  
よって国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正を確実に実現されるよう、強く要望する。  
(全員賛成)

提出者 議会運営委員長 洲崎 正昭

## 委員会活動レポート

### 県森林公園活性化対策特別委員会が石川県知事へ要望書を提出

8月27日、矢田町長と角井議長、町議会森林公園活性化対策特別委員会が、谷本県知事と面談し、県森林公園の施設整備等について合同で要望を行った。  
2年後に開園50周年を迎える森林公園を、今後より安全、快適に利用できるよう、新たな集客施設の整備や人気施設のリニューアル等について、支援と協力を強く要望した。  
面談には、当町の焼田県議会議員、森林公園地域振興会代表理事である坂本副町長も同席した。



### 不採択となった陳情

辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

◎陳情者 「新しい提案」実行委員会

責任者 安里 長従  
会長 阿部健太郎  
(賛成2人・反対13人)

委員会の主な意見

令和元年6月会議において、ほぼ同様の請願書が提出されていた。現在の沖縄の状況を鑑みて、多くの沖縄の振興策を講じており、政府の決定事項に賛同できる。

**賛成**

陳情者の趣旨は、どれも至極真つ当な事である。埋め立ての賛否を問う沖縄県民投票の7割以上が反対の意思を示した。この民意を尊重するならば状況は改善されるはずである。  
塩谷 道子議員

人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画の断念」を国に要請すること

◎陳情者 沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」

代表 具志堅隆松  
(賛成3人・反対12人)

委員会の主な意見

辺野古基地の建設反対が本旨であり反対である。遺骨が埋もれている土砂を基地建設に充てるという部分については人道的に見て賛成できる部分がある。

**賛成**

埋め立て用土砂採取計画の撤回要請は人道上の問題である。遺骨発見現場も採石場の予定地となったことへの驚きではないか。戦没者への冒瀆となるようなことはすべきではない。  
塩谷 道子議員